



健康づくり・地域づくりシステムの開発

理学療法学科

田口 孝行 教授

【研究分野】 地域リハビリテーション、地域支援、ヘルスプロモーション
 【キーワード】 健康づくり、フレイル予防、地域づくり
 【URL】 <https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=165tagu>



研究概要

「地域包括ケアシステム」および「地域共生社会」において、住民主体による地域課題の解決力強化や体制づくりが必要であることが提言されています。

自分個人の健康課題として内向きにとらえるのではなく、地域全体の健康課題として外向きにとらえる志向を持って、**住民が主体となって課題解決（健康づくり）に取り組むことができるシステム（地域づくり）開発**に関する事業研究を行っています。

研究紹介

1.自治会主体の健康づくり活動システムの開発

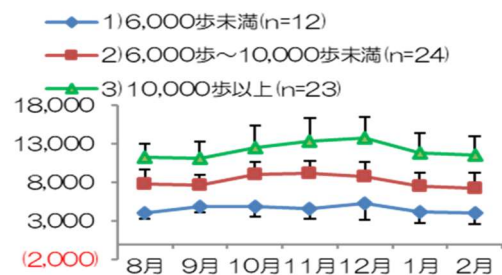
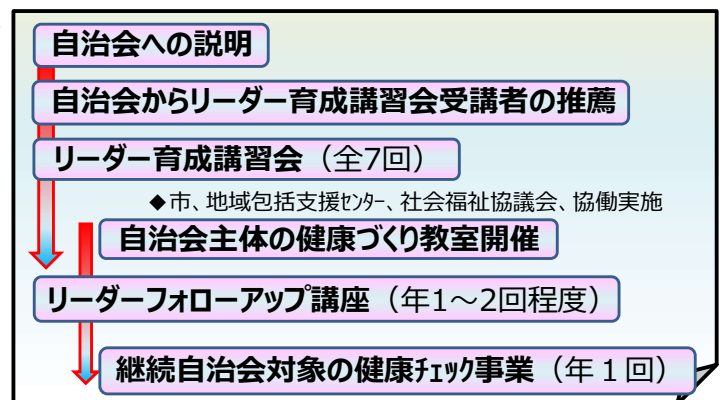
市、地域包括支援センター、社会福祉協議会との連携による事業研究。

- 1) ご当地体操の開発（ポスター・DVD作成）
- 2) 「健康づくりリーダー育成講習会」プログラムの開発・事業実施支援
- 3) 効果・事業成果に関する研究
- 4) 参加者アンケート調査 等

2.「毎日1万歩運動」の効果検証（受託研究）

歩数計測、体力測定結果、血液検査結果、医療費 等から事業の効果検証を実施。

- 開始初月の平均歩数から、6か月間の平均歩数にある程度予測できる可能性。
- 6,000歩以上の歩数を6か月間継続することで、下肢筋力や複合動作能力も向上。・・・など



講座テーマ紹介

- 健康づくり/介護予防リーダー育成講習会、住民が主体となった**地域づくりのための講習会**など
- **地域支援事業**への関わりのポイント：専門職が地域支援事業に関わる際の留意点など
- パーキンソン病の在宅支援：パーキンソン病に特化した在宅生活支援についての解説

アピールポイントなど

自治体における介護保険運営協議会（会長）、地域包括ケア推進協議会（会長）、介護保険認定審査会等にも関わらせていただいております。

自治体との政策等に関わる共同研究、企業とのヘルスプロモーション等に関する共同研究のお誘いをお待ちしております。